

こすど地区公民館報

発行
新潟県新潟市小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市小須戸117番地
TEL 0250-38-2234
FAX 0250-38-5210
編集・公民館報編集委員会



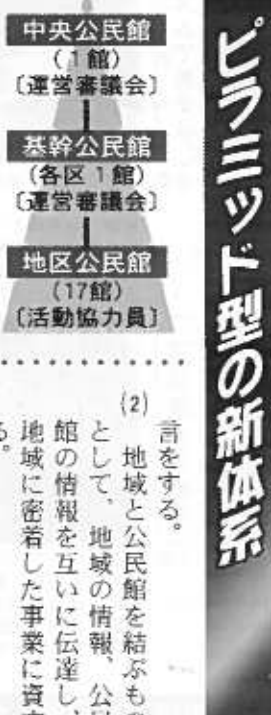
水ぬるむ川の岸辺で...

政令市になると

小須戸地区公民館は、こうなる 課題と期待

新潟市二十四公民館の代表者によって、政令市移行準備が進められ、区制になってからの地区公民館の姿が少しずつ見えてきました。平成十九年度、新制小須戸地区公民館の組織・事業・運営の概要をお知らせします。

組織



小須戸地区公民館には、運営審議会に替わり活動協力員(十二名)が、市教育委員会から委嘱される。活動協力員の主な役割

- 公民館の事業に対して提
- 地域と公民館を結ぶものとして、地域の情報、公民館の情報と互いに伝達し、地域に密着した事業に資する。
- 事業の企画運営にできる限り協力する。活動協力員は、新体制の目玉として、地域や学校への橋渡しと地域の人材発掘に更なる協力を期待したい。

分館の活動を活かして

「分館」が、十八年度をもつて名実共にその役割を終える。分館最終役員会議録から、五十七年間の歴史は重みがある。和気相合の楽しかった活動の思い出は残る。・コミュニティ協議会の副会長を引き受けた。地区公民館との連携を図りながら活動していきたい。

事業

公民館報の研究を進める

「市報にいがた」と「区役所だより」が届けられる他に各種協議会だよりや協会だより等の発行も考えられる。これらを視野に入れて、より地域の持ち味を生かした館報の編集を目指して編集委員会と職員で調査・検討する。十九年度中に、広報の合併・その他の方途を明らかにする。

地域の魅力発見、掘り起こしに期待

- ふるさと文化の継承発展
 - ① 伝統の技講習会 「しのぶ細工講習会」 「花とみどりの講習会」
- 小須戸(自然と文化)
 - ぐるっと巡り教室
 - 環境・防災・植物
 - 文化財・遺跡

(2) 文化協会との協力・連携

- 政令市後の事業実施方法を考えながら、共催事業を推進する

・地区市民展
・地区芸能祭
・地区文化講演会

運営

公民館出前講座と学校開放講座

・児童との交流をする
第24回新津南高校開放講座の運営と善丘祭(文化祭)に参加して、生徒との交流を深めるようにする。

館の利用・活用、「貸し館」も大切な事業

休館日と開館時間は、十九年度まで従来どおりとする。

○休館日
毎週木曜日・祝日
年末年始12/29、1/3

○開館時間
月・火・水・金・土曜日
am九時～pm五時
日曜日
am七時～pm九時三十分
日曜日
am九時～pm五時

○予約システム
公民館の施設を借りる方法として、利用団体会議で申込手続きと調整を行なってきましたが、本年度も従来の窓口

や電話による予約申込のほかインターネットによる予約を受け付けます。職員が窓口で代行入力も行います。お気軽に相談してください。

政令市移行準備を二年間にわたり進めてきましたが、まだ残っている課題や実施にふみ切れないものもたくさんあります。

これからは、活動協力員の総意を結集し、公民館職員は丸ごととなって研修に努め、地域課題の解決に向かって、事業の企画・運営に当たる。

子育て

「子育て」
もうじき、ピカピカの一年生が、誕生する。あの頃の子育てがなつかしい。今は、孫の子守をする身ですが、その親の子育ても続いている。香山リカ先生の講演でも、

子育ての大切さを話されましたが、自分なりに、一生懸命して来たつもりでも、思わぬ結果を招くこともある。原因がどこにあるのか、子育てのむずかしさ、子育てではなく子育てであるということ。

人間関係や、社会的ストレス、子ども達も大変だ、いつ事故や事件に遭遇するかわからない。

祖母は、子だくさんの父を心配して、ささやかな援助をしようとしたけれど、今は、経済的だけでなく、精神的、社会的な子育てが問われる。これからは私は、子育てで孫育てに迷い続けて行くのかもしれない。



田沢 迪子さん (矢代田)

「県ジュニア展」入選おめでとう(2)
～感性キラリ、個性豊かに～



優秀賞
 幼稚園・保育園の部

「かまきりとやどかり」

濱 士門さん
 (大川前2)
 小須戸幼稚園 4歳児

なかよしのかまきりとやどかりが、かいがんでなかよくあそんでいます。

奨励賞
 小学校6年生の部



今回2度目の入選となり、とても嬉しく思います。足をテーマに色をふだんより多めに使い描き上げた一枚です。

会員募集 春から、仲間にならねかねえ～
 乳幼児から高齢者まで 参加費は全て無料

子供大正琴教室

子供と一緒に手遊びやリズム体操をしています。

日時 毎週金曜日 午前10時～12時
 会場 地区公民館2階(会議室(和室))
 内容 手遊び・親子リズム・遊び・おやつタイム
 対象 0歳から未就園児の親子

囲碁・将棋愛好会

仲間づくりのため、上手、下手は関係なし。集中力を高め、頭の回転を研ぎ澄ませよう。

日時 毎月第2・第4土曜日 午後1時30分～3時
 会場 地区公民館(視聴覚室)
 対象 小学生(10名程度)
 指導 小須戸大正琴愛好会

子供茶の湯教室

昔からの伝統を守るために、正しい立ち振る舞いを学んでみませんか。

日時 毎月第2・第4土曜日 午前9時～11時30分
 会場 地区公民館(和室)
 対象 小学生(10名程度)
 指導 茶道「釣月庵会」

各種大会の結果

新津地区市民将棋大会
 二月二十五日(日)・新津地域学園(Bクラス)の部

優勝 砂井正市さん(小須戸)

三位 野崎 義和さん(横川浜)

なお、今回同大会で優勝された砂井さんは昨年、三条の将棋大会でも優勝しました。今後は、来年の新津市民将棋大会に向けて、更なるレベル「Aクラス」での連続優勝を目指します。

問い合わせ先 小須戸地区公民館 ☎38-2234

シリーズ 「今、子どもたちは」 (126)

おはなし会 おはなしほけっと

「これは、おはなしのろうそくです。このろうそくに火をつけると、おはなしが始まります。昔、あるところに」と、語り始めると子ども達は瞬間におはなしの世界へ飛び込みます。大人が聞けば、そんなことはありえないと思うことも、子ども達は想像力を働かせ、ハラハラ・ドキドキしながら、主人公と一緒に勇気を持って困難に立ち向かって行きます。最後は知恵を絞って危険を乗り越え、必ずめでたしめでたしでホッとします。そして、お願いごとを一つずつ消して、おはなしは終わります。ある日、子ども達はうれしそうに言いました。

「あのね、この前お願いしたこと、叶ったんだよ! また、あのおはなしして!!」

佐藤公民館長の十八番「へっこきじっさ」の昔話し



新津第一小学校(ミュージックバンドクラブ)との合同演奏会

去る二月四日、小須戸地区公民館にて小須戸吹奏楽団第三回目の演奏会を開催致しました。今回は、皆さんに馴染みの多い曲を取り揃え今まで以上に吹奏楽をもっと身近に感じてもらいたいという計画致しました。用意した百五十部のプログラムもほほ無くなり沢山の方々に聴いて頂けたと喜んでおります。

また、アンケートに寄せられた、数多くの貴重な声もお聞かせ頂き感謝しています。団員一同これを糧に早くも第四回に向けて邁進しているところでありますが、来年の演奏会までと言わず、近いうちにまた何処かで目にかかれれば幸いです。

また小須戸吹奏楽団で吹いて奏でて楽しんでみたい方は、いつでも公民館までお問い合わせ下さい。まずは、見学からお待ちしております。

代表美濃 千晃(小須戸)

吹奏楽をもっと身近に

♪ 堂々とした演奏で聴衆を魅了♪

催し物のご案内

◎「春休み」わんぱく広場
 体を動かして、仲間づくりが出来ると嬉しいです。気軽に、参加してください。

日時 三月二十九日(木) 午前10時～11時
 会場 小須戸小学校(体育館)
 対象 小学生・幼児と保護者
 持ち物 汗ふきタオル、飲み物 内ばき

講師 岩城真理さん(新津レクリエーション協会会員)
 申込み 当日、直接会場へお越し下さい。

問合せ 小須戸地区公民館 ☎38-2234

◎おはなしのせかいへ
 日時 四月二十一日(土) 午前10時～12時
 会場 小須戸地区公民館
 対象 幼児から大人まで
 読み手 おはなしほけっと

公民館よりお知らせ
 次号四月号の公民館報では、新年度からスタートする各種教室・講座の参加者募集の記事を掲載します。ご参加を!!

入会のご案内

新潟県立植物園友の会は植物や自然が大好きな皆さまの集いです。あなたも会員になって花や木と友だちにならしましょう。

◆友の会に入ると
 ①いつでも無料で入館できます。(H18年度より変更になりました)
 ②「植物園だより」(季刊)、友の会ニュースレターなどを通じて友の会や新潟県立植物園の各種情報が得られます。
 ③新潟県立植物園で販売する書籍の割引販売が受けられます。
 ④植物観察会やバスツアー、種苗交換会など友の会イベントに参加できます。
 ⑤会員向けの企画展示解説が受けられます。

◆会費：入会金無料・年会費実費
 ◆お問い合わせ 新潟県立植物園 友の会事務局
 新潟市大学金津186番地 ☎0250-24-6465

2人の女子高生全国大会

第29回全国高等学校柔道選手権大会の《団体・女子の部》に日本文理高等学校二年生の次の2名が出場します。

佐藤 成美さん (鎌倉新田)
 河内 綾子さん (舟戸)

文芸欄

| | | | | |
|-------------------------------------|---|--|-------------------|---|
| 川 (題：心当たり) あつたんだよ! また、あのおはなしして!! | 柳 成長を柱に残し子が巣立ち この顔に見覚えがあるモニタージュ ごめんねが笑顔で返る爽やかさ | 短歌 福豆に右往左往の鬼の影 ショートステイの窓に映りぬ ハツ手葉に黄葉一片紋のごと 時雨るる中に暮れてゆくなり | 俳句 二月空水仙の花日脚伸ぶ | 句 初夢や猫を貰ひに馬車に乗り 正月を病院暮して終りけり 冬麗友に笑顔の戻る日 柚うるる専業農家三世代 落款の少しゆがみし筆始 参道に下りては遊び雀 如月の空よりとどく鶯の笛 萱葺の雪を風情に里帰り |
| 増井 都留 | 保科 志枝 | 村山 睦 | 藤井ハルエ | 中野 大浪 五十嵐香月 佐久間久子 丸山 栄子 渡辺 信子 間野 えり 吉澤 文子 田沢 親永 |